

よくある質問と回答、羽水高校説明会の感想

「羽水高校説明会」や各中学校に出向いての「高校説明会」等の機会に、羽水高校について寄せられた質問にお答えします。あわせて、「羽水高校説明会」のアンケートに書かれていた感想から、いくつかピックアップしてお知らせします。

1 中学生からの質問と回答

質問 1

普通科から探究特進科への編入はできますか。

回答 2

教育課程が異なるため、普通科・探究特進科間の移動はできません。

質問 2

普通科の1年次のクラス編成は、何を基準に行っていますか。特設クラスと標準クラスを分ける基準となるテストは、高校入試ですか。

回答 2

クラス編成については、出身中学校、同姓の生徒、特設クラスの希望の有無等をもとに行っています。例年、特設クラスの希望者が多いため、高校入試や合格者登校日に行うテストをもとに、総合的に判断して、クラス編成を行っています。

質問 3

普通科の理系、文系はどのように決めますか。

回答 3

文理選択は、1年次の夏・秋ごろから、生徒自身が進路希望、興味・関心、自身の適性等について考えて、家族や学校の教員との話し合いも参考にしながら決めていきます。自分の進路です。最終的には、生徒自身の意思が決め手になります。

質問 4

長期休暇はいつありますか。

回答

夏季休業、秋季休業、冬季休業、春季休業があります。

質問 5

アルバイトはできますか。

回答 5

羽水高校の生徒心得では、「アルバイトは原則として禁止する。但し、年末年始の郵便に関する仕事については、学校の許可を得た場合に認める。」としています。生徒心得の全文は、ホームページの「学校紹介」のところにも掲載されています。

質問 6

男子の制服や学ランは、中学のものを使うことは出来ますか。

回答 6

学ランは、標準的なものであれば中学校のもので構いません。

質問 7

スマートウォッチや腕時計等をつけて行くことは可能ですか。

回答 7

可能ですが、高価なものは控えた方がよいかと思います。

質問 8

探究論文とは具体的にどういったものですか。

回答 8

羽水高校の探究論文とは、主に探究活動の内容や成果、活動によって得られた自分の成長等について、客観的に見つめ直して書く論文です。例えば、探究活動の目的、内容・方法、結果のほか、探究活動によって得られた思考の変化、改善策の模索、失敗や成功などについて、またその原因・理由について、書きます。

質問 9

普通科と探究特進科の生徒が交流する時間はありますか。

回答 9

部活動のほか、総合的な探究の時間、A S U、学校行事、生徒会活動等、さまざまなシーンで、普通科と探究特進科の生徒が交流します。

2 保護者からの質問と回答

質問 1

探究特進科、普通科・特設クラス、普通科・標準クラスは、それぞれどのような進学先を想定したクラスですか。

回答 1

探究特進科は、国公立・私立の難関大学進学を目指しています。普通科・特設クラスは、クラス全体として国公立大学進学を目指しています。普通科・標準クラスは、多様な進路を目指しますが、毎年県内の国公立大学に進学する生徒もします。

質問 2

特設クラスのクラス数は、何クラスですか。

回答 2

その学年の文系・理系の志望状況などで、変わることがあります。令和4年度入学生は、1年次2クラス、2年次は文系理系それぞれ1クラスずつを予定しています。

質問 3

入学時、特設クラスに在籍した場合、成績によっては、翌年のクラス替え時に標準クラスになる、またその逆で、標準クラスから特設クラスになるということはあるのでしょうか。

回答 3

進路志望の変更等の理由により、特設クラスと標準クラスの間で移動が行われることがあります。

質問 4

普通科の特設クラスは、クラス替えはありますか。

回答 4

文系・理系の特設クラスがそれぞれ複数ある場合は、特設クラス内でのクラス替えを行うことがあります。

質問 5

普通科については学力にバラツキがあるかと思うのですが、クラス編成は成績に応じてされるのですか。

回答 5

志望する進路や、選択科目を考慮してクラスを編成します。

質問 6

子どもが学びに向かうための工夫はどのようにされていますか。新型コロナウイルス感染症の影響により、勉強の楽しみや真の人との関わり方を知らずにいるように感じています。

回答 6

高校でもペアワークやグループワークで、クラスの友達等と意見を交換しながら、考えを深める授業を多く行っています。教室の中で他の生徒と協力しながら学び合う機会が大切だと考えています。

質問 7

G I G A スクール構想にて配付された端末について、活用実態を知りたいです。また、端末が小中と高校では異なりますが、端末ガイダンスや効果的な活用についての中高での連携などはされますか。

回答 7

休校時などのオンライン学習で用いるのはもちろん、通常授業でも発表資料（プレゼンテーションファイル）を作る、意見交換の場として用いる、レポート、英作文、英語音読を録音する音声ファイルやスピーチなどの課題を提出する、進路学習などで情報収集に用いるなど、使い方は多岐に渡ります。

福井県の県立学校では Chromebook を使用しています。中学校で使用していた機種と同じとは限りません。基本的な使用方法については、入学後オリエンテーションを行います。

質問 8

普通科を第 2 志望にした場合、第 1 志望にした人とは合格の判定方法や内容は変わりますか。

回答 8

福井県教育委員会から発表されている「福井県立高等学校入学者選抜に関する実施要項」にあるとおり、入学者選抜に当たっては、志願変更の有無、第 2 志望などの理由により等差をつけることはしていません。

質問 9

探究特進科でないと、難関国公立大学の進学は難しいですか。

回答 9

難関国公立大学への進学を目指す生徒の割合は探究特進科の方が高いといえますが、これまで同様普通科からの進学も可能です。

質問 10

普通科と探究特進科では、使用する教科書（教材）は違うのですか。

回答 10

探究特進科と普通科では、カリキュラム（どのような教科を週あたり何時間学習するかを示したもの）が異なるため、使用する教材が異なる教科もあります。

質問 11

入学時や、月にかかる費用等はどれくらいですか。

回答 11

入学前に、教科書・参考書等のほか、制服や体操服、シューズ等の物品を購入していただきます。

令和4年度入学の場合は、概ね、以下のとおりでした。

教科書・副教材 約26,000円～約27,000円

体育用シューズ・体操服 約22,000円

カッターシャツ（学ランの下に着るシャツ） 約7,500円

ブレザー・スカート・リボン等一式※、ブラウス 約46,000円

※ブレザー・スカート・リボン等一式を購入した生徒のうち、希望者はスラックスも購入できます。（約11,000円）

「合格者登校日」の物品販売の際は、上記のほか、推薦辞書、学ラン・ズボン、自転車通学用雨合羽等の販売があります。

毎月の費用としては、月9900円の授業料のほか、育成会費（PTA費）、生徒会費、旅行積立金等の学納金が必要になります。令和4年度入学生の場合、学納金は、月によって多少の増減がありますが、平均すると約15,000円程度でした。

物価高騰、旅行積立金の増額等が予想されており、令和5年度入学生の場合は、学納金の金額が多少上がることが見込まれています。

質問 12

購買はありますか。

回答 12

あります。文房具や体操服等を販売しています。羽水高校には温かく美味しい料理を提供する食堂や、飲み物・パン等の自動販売機も揃っています。

質問 1 3

普通科と探究特進科の別々の集計の進学実績を知りたいと思いました。

回答 1 3

探究特進科は、令和4年度に一期生が入学しました。従って、進学実績はまだありません。

質問 1 4

他校の普通科では、大学受験に対応するため1、2年生の学習スピードが早いと聞きますが、羽水高校はどうですか。

回答 1 4

他校の普通科と同様に、教科書の学習進度は比較的早めです。自主的・主体的に学習に取り組むことが求められます。教科書の学習が済んだあとは、入試対策の演習等を行います。

質問 1 5

鯖江方面からの生徒の交通手段が知りたいです。花堂駅から徒歩20分と掲載されていましたが、自転車等を利用している子もいますか。

回答 1 5

花堂駅もしくは福井駅から、自転車やバスを利用して通学しています。

質問 1 8

距離による自転車通学許可の制限はありますか。通学距離何 km 以上から自転車通学が可能でしょうか。

回答 1 8

距離による制限はありません。

2 感想

- ・生徒さんが主体になって進行していったのがとても良かったです。
- ・生徒さんの表情が生き生きとしており、大変惹きつけられました。
- ・生徒が説明会を運営しており、生徒参加型で純粋に良いと思いました。
- ・サッカー部の活動を見学したかったです。
- ・説明会では、多くの先生方、学生さんが準備してくださりありがとうございました。学生さんの生き生きした姿が印象的で、充実した学生生活を送っていることがわかりました。ありがとうございました。
- ・生徒達の考えたスライドがとてもよくわかった。自分で考え更に追求する力はとても大事な事だと思う。
- ・今の時代に沿った形で、学校の方針が変わってきていて、羽水高校の進化を感じました。より一層受験を勧めたいと感じたし、息子も同じように感じていました。ただ、感じたのは、それだけ考える力を押し進めているが、入試は変わらず認知機能だけの基準である事は、少し残念に感じます。非認知機能も評価される入試になると良いなあと感じております。
- ・校長先生の話が、今の社会の状況と併せて、とても分かりやすかった。
- ・校長先生のお話が分かりやすく、子どもたちに求められている力がわかりました。親として、意欲の大切さが必要とわかり、やるべき事の大変さ、難しさを痛感しました。
- ・校長先生の、今後の進路のお話などが大変興味深かったのですが、そのお話の資料が手元になかったのていただきましたかったです。